

実は身近な発達障害

DCD(発達性協調運動症)ってなんだろう？

～“不器用”の問題とその支援～



DCD（発達性協調運動症）は、走る、跳ぶ、ボールを蹴る、姿勢を保つなどの運動や、字を書く、箸を使う、ハサミを使うなどの作業に必要な協調運動が困難な発達障害（神経発達症）です。DCDがある人たちは、一生懸命頑張っているのに「不器用なだけ」「努力が足りない」「やる気がない」と言われてつらい思いをしているかもしれません。DCDについて正しく知って、日常の中でどういった支援や工夫ができるといいのか、一緒に考えていきましょう。

日 時

令和8年
2月14日(土)

午後1時から4時
(受付は午後0時30分から)

定 員

600名

応募者多数の場合は抽選
結果は1月下旬に通知予定



場 所

ウインクあいち
(愛知県産業労働センター)
大ホール

📍 名古屋市中村区名駅4丁目4番38号



※会場へは公共交通機関をご利用ください

講 師

岩永 竜一郎 さん

長崎大学生命医科学域（保健学系）教授

宮地 泰士 さん

名古屋市西部地域療育センター所長

司 会

渡邊 晶子 さん

フリーアナウンサー

参加
無料

手話通訳
要約筆記
あり

申込方法は裏面へ👉
(1/6(火)締切)

実は身近な DCD(発達性協調運動症)ってなんだろう？

発達障害 ～ “不器用” の問題とその支援～

講師プロフィール



岩永 竜一郎 さん

長崎大学生命医科学域（保健学系）教授。
長崎大学子どもの心の医療・教育センター長。博士（医学）。
認定作業療法士。自閉症スペクトラム支援士エキスパート。
特別支援教育士スーパーバイザー。
著書に「不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック」
（金子書房、2024年）などがある。



宮地 泰士 さん

名古屋市西部地域療育センター所長。
博士（医学）。小児科医。
幼児期の療育を中心に、発達障害（神経発達症）の診察や研究などに携わっている。
著書に「発達が気になる幼児が療育センターを受診するとき」
（金子書房、2025年）などがある。

申込方法

下記のどちらかの方法で**令和7年11月4日(火)から令和8年1月6日(火)までに**お申し込みください。

①電子申請

右のQRコード（名古屋市電子申請サービス）から

1名ずつお申込みください。

※当所のホームページにも案内を掲載しています。

リンクす名古屋 研修案内



②往復はがき

◎往信うら面に①氏名（ふりがな）、②住所、

③電話番号、④職業、⑤配慮事項(※)を

ご記入の上、お申込みください。

◎令和8年1月6日（火）当日消印有効です。

◎往復はがき1通につき、**1名ずつ**お申込み
ください。

◎郵便料金をご確認ください。

はがきの額面は**85円**です。

◎返信先の郵便番号も必ずご記入ください。

※車いす席等、配慮が必要な方は、その旨を
往信うら面の⑤配慮事項にお書きください。

記入例

85 返信	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	2月14日講演会参加希望
申込者ご本人のお名前	申込者の住所	①氏名（ふりがな） ②住所 ③電話番号 ④職業 ⑤配慮事項（※）
〇〇〇〇〇〇〇〇	返信おもて	往信うら
85 往信	466-0858	（この面には、何も記入しないでください）
名古屋市発達障害者支援センター リンクす名古屋	名古屋市昭和区折戸町四一十六	
〇〇〇〇〇〇〇〇宛	往信おもて	返信うら

問合せ先

名古屋市発達障害者支援センターリンクす名古屋
〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16

※悪天候等により中止又は内容を変更する場合があります。ご了承ください。

TEL：052-757-6140
（平日午前8時45分～午後5時15分）